

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第1回行田市女性活躍推進ネットワーク会議	
開 催 日 時	令和5年7月19日（水） 開会：午前10時05分・閉会：午前11時30分	
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者（委員）氏 名	山崎孝子委員（座長）、吉澤篤人委員（代理人出席）、根岸桃子委員、 西田信子委員、持田恵美子委員、永島志津江委員、茂木美智代委員、 高橋晃代委員、宮崎理恵委員、川鍋和史委員、黒澤麻美委員、新井 幸恵委員、細村稜幸委員 （名簿順、敬称略）	
欠席者（委員）氏 名	岡田恵美委員、増田久美子委員、石井理央委員、小原正行委員、坂 詰恭子委員、瀬山紀子委員、上木孝子委員	
事 務 局	堀口修司（所長）、風間和美（主任）	
会 議 内 容	（１）行田市女性活躍推進事業行動計画（案）について （２）令和5年度女性活躍推進事業計画（案）について （３）その他	
会 議 資 料	・ 会議次第 ・ 委員名簿 ・ 資料1 行田市女性活躍推進事業行動計画（案） ・ 資料2 女性活躍推進ネットワークイメージ図 ・ 資料3 令和5年度女性活躍推進事業計画（案） ・ VIVA開催の講座チラシ（親子講座） ・ 就職支援セミナー（共催事業）チラシ ・ 在宅ワーカー育成セミナーのチラシ ・ 男女共同参画週間パネル展示の様子 ・ パソコン講座受講後の状況調査集計	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 2名	
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名
	令和5年8月19日	山崎孝子

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	・ 開会。 - 委員の自己紹介。 - 配布資料の確認。 ・ 本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。 - 本日の傍聴希望者は2名。 ・ 座長の選出（山崎孝子委員）。 ・ 議長の選出（座長）。 ・ 副座長の選出（持田恵美子委員）
事務局	(1) 行田市女性活躍推進事業行動計画（案）の説明
議長	・ 事務局の説明に関して意見や質問はあるか。
議長	・ それでは議事の（2）令和5年度女性活躍推進事業計画(案)について事務局から説明をお願いします。
事務局	・ 令和5年度女性活躍推進事業計画（案）の説明。
議長	・ 事務局から説明があったが、何かあるか。
西田委員	・ 前年度の実績を扱って、今年度の予定を説明するのではないのか。令和4年度の実績があるが、よくわからない部分があるので説明いただきたい。
議長	・ 計画の前に昨年度の事業実績の詳しい説明があるべきではないか。事務局より何か説明できるようなものがあるか。

事務局	・昨年度の事業については、令和４年度の第２回の会議で報告をさせてもらっているの、割愛させてもらった。
議長	・１月に会議はあったが、１月以降の誤嚥性肺炎の予防講座１５名、終活セミナー１７名の、どのような方からの申し込みがあったか感想を聞きたい。
事務局	・誤嚥性肺炎については、１５名の参加である。令和５年１月２８日に学習室で行った。内容については、飲み物を持参してもらい、飲み込んでトレーニングをして、飲み込む力を強くするというこ とで、誤嚥をしないようにとトレーニングを行った。感想につい ては、「習ったことを続けて飲み込む力をつけていきたい」「むせ た時の吐き出し方についてもっと聞きたかった」というものがあ った。喉のトレーニングというのは歌などでするものだと思っ ていたが、食べて飲み込むという作業そのものがトレーニングとい う意識がなかったといういことを、改めて認識されたということ であった。講座の中で実践トレーニングがあって良かったという 感想もあった。 終活セミナーは、前回の会議の前に行ったものであるが、１時間 くらいしか時間が取れなかったため、せわしなくなってしまっ たと認識している。来ていただいた方には、大変参考になったと聞 いている。
西田委員	・在宅ワーカーが１名だったのはなぜか。
事務局	・在宅ワーカー１名というのは、WEB開催だったが行田市在住の 方で参加したのが１名であった。少し、PR不足だったかもしれ ない。
議長	・宮崎委員いかがか。

宮崎委員	・就職支援セミナーと在宅ワーカー育成セミナーについては、女性キャリアセンターの事業で、共催いただいているものである。9月28日の就職支援セミナーについては、出前セミナーという扱いで、女性キャリアセンターだけでなく県内各所で市町村と共催でやる事業の一つである。合同企業説明会とセットになると皆さんの出足が鈍くなるという現実があり、周知は図ったが11名であった。 - 在宅ワーカー育成セミナーも、全県を対象にしているセミナーで、全て参加がWEBになっている。実際は定員に近づいた形で実施できている。今年度も実施していただけるとのことである。
議長	・時間が過ぎた後、またみられるということはあるのか。
宮崎委員	・入門コースは年3回やっている。都合が合わない時は、次回できる。あと、初級セミナーというのがあり、そちらの参加もできる。複数回実施しているので、どれかに参加してもらう形になる。
議長	・便利な世の中になった。若い方は使いこなせるので需要があるのではないか。そのほか何かあるか。
根岸委員	・在宅ワークについて、すごく幅広い印象があり、「大きい会社からの委託で行うもの」「会社に属した上での在宅ワーク」「自分で起業する」等があると思う。県への意見になるが、在宅ワークをやりたい人を募集するというのは、どういう対象を求めているのかわからないチラシだと思う。内容が見えにくいと感じた。
宮崎委員	・在宅ワーカー育成セミナーの対象は、子育て中の母親が就業するのが厳しい場合に、幼稚園に行っている合間を縫って仕事をやってみるというコンセプトでやっている。企業から受託して個人事業主としてやるのが基本だが、自分で起業した人もいる。主にWEBを作成するとか、データ分析をする、データ入力をするなどを主

	眼に育成して、あとは自身で得意分野があればそれを伸ばしていく。在宅ワーカー育成セミナーを受講して、実際に就業された方もいる。対象としては、全女性というコンセプトで、働き方を自分で選ぶという事でやっている。
根岸委員	・チラシの内容の【１】【２】【３】【４】をもう少し細かくしてもいいと思う。
西田委員	・託児についても、わかりやすく前面に出して、そういう人が仕事に繋がってくるための講座ということをだした方がいい。
議長	・もう少し細かくPRした方がいいのではないかな。
西田委員	・内職も在宅だろうし、コロナ中の在宅があり、そのことを引き継いで行っている会社のことなのか、幅広くてわかりづらい。 例えば、これがハローワークと繋がって、今こんな仕事がありますとか、そういうことも含めて学べたら嬉しいと思う。興味がある人はたくさんいると思うが、明確に興味がある人が聞いてみようと興味を持つよう、ひと工夫が欲しいと思う。
宮崎委員	・在宅ワークということが頭にあり、チラシを作成しているので指摘をいただいて、入門コースのチラシに「在宅ワークとは」というところが抜けていたと感じた。今後は参考にしたいと思う。
議長	・子育て中のお母さん方が、職を持ちたいが時間にゆとりがない場合は、在宅ワークが充実してくるといいと思う。 永島さん、質問ありますか。
永島委員	・事業実績について、今後のお願いですが、第１回目は今年から委員になられた方もおり、年２回しか会議はないので、講座の名前と人数だけでなく、講座の概要とアンケートの結果の配布をお願い

	いする。あと、誤嚥性肺炎の予防講座のところで報告があったが、これは誤嚥性肺炎の予防講座がメインではなくて、「男女共同参画」「女性活躍推進」の本来のメニューがあったと思うが、これは誤嚥性肺炎の予防講座がメインの講座か。
事務局	・誤嚥性肺炎の予防講座がメインの講座である。行った理由は、誤嚥性肺炎になってしまう家族の方に対して予防ができればということで行った。誤嚥性肺炎のニュースを聞くと、入院している方も結構いるということで、家族の誰かがこの講習を受けて誤嚥性肺炎にならないために学んでいただけたらといいと思い、この講座を行った。趣旨は、若い方に家族の健康予防でということだったのだが、高齢の方の参加が多かったという印象だ。
議長	・参加は15名だが、募集は何人だったのか。
事務局	・30名募集した。
議長	・チラシは公民館にも配布したのか。
事務局	・市報に掲載し、市役所関係のところにチラシ等は配布した。
西田委員	・誤嚥性肺炎予防講座ですが、ある程度の年齢であれば誰にでも起こることではないか、行田の色々な方に、家族本人も含めた多くの方に知ってもらえたらと思う。例えば、講師の方にWEBで保存してもらうことが可能であれば、動画が1年間ホームページで見られるというのを、今後考えていったらどうかと思う。
議長	・多くの人にみてもらいたいので、動画を撮って、ホームページで見られるというのを、どんどんやっていくのがいいと思うが、いかがか。

事務局	・ 2年くらい前から、オンライン・オフラインということで、そういう希望がある中で、昨年度はやってみようという事で動いていたのだが、機材もなかったり、ある程度完成されたものを公開するのは、1年間で用意するのはハードルが高かった。
西田委員	・ 映されるのがいやだという人もいると思うので、例えば講師のパターンだけ撮ってで十分だと思う。多くの人が観る機会を優先させて講師の方だけ映すというのはどうか。
事務局	・ 検討させてもらいたい。ただ、昨年の誤嚥性肺炎予防の時に、講師の方と話した中で、WEBでやるのはうまく伝えることができないということであった。委員の皆様からの、意見や希望を伺っておりますので、今後検討していきたいと思う。
議長	・ 今年の予定だと、「ピラティス講座」がインナーマッスルの強化というところを、先生の見本をやっているところだけでも、動かし方等を流すことができるのではないかと。9月30日なので、講師との話し合いもあると思うが、今回試しにやっていただけたらと思う。
事務局	・ 検討する。
議長	・ よろしく願います。高橋委員さんどうですか。在宅ワーカーとハローワークとの関係について。
高橋委員	・ 就職支援セミナーは共催ということで、一緒にさせていただいているが、在宅ワーカーの方はキャリアセンターさんの方でやっているということで特に協力をということがなかったのだが、今後、何かあれば協力させていただきたい。
議長	・ 連携していただけるとうまく繋がって、今度は子育てが終わった

黒澤委員	ら次は就業とそういうことも可能だと思うので、よろしくお願ひしたい。黒澤さんどうですか。今のこういうお母さん方の支援とか。 ・度々ここで話題となる講座の周知方法や参加者が少ないというのは私も常に抱えている課題で、講座を開催するには、講師の先生のためにも、定員までいってほしいと願っている。当課では、昨年から申込みをオンラインで受け付けるようにしたところ、若いお母さんから深夜や早朝の申し込みが非常に多くなった。自分に置き換えても、昼間仕事をしているので、市報やチラシをみて申し込みもうと思っても、昼間仕事していて電話ができなくて申し込みないという方が多いと思う。子どもが寝た後や朝子どもが起きてくるまでの時間が、お母さん達の自由に動ける時間だと思う。QRコードを読み込んで、電子でいつでも申し込みができる方法があると、仕事をしているお母さんは申し込みがしやすいのではないか。女性キャリアセンターのチラシや在宅ワーカー育成セミナーのチラシにも、QRコードがついている。QRコードを読み込んで、入力をできるようにすると申込みがしやすいと思う。受付をする時に担当者としても、電話で聞き取る時に名前が難しい時がある。自分で入力してもらおうと受付も楽になる。電子申請システムを使ってみてはどうかと思う。
議長	・コロナでQRコードが必要な時代になってきたが、事務局ではQRコードの作成はできるのか。
事務局	・同じ仕組みを使うのですぐできると思うが、今回のパンの講座は募集人数が少ないので、窓口と電話とQRコードと分ける時に、人気の講座ですぐいっぱいになるため、トラブルが大きいと思いQRコードについては見送った。
議長	・ピザづくりは、興味あるお母さんと子どもさんが殺到すると思う

	ので、電話や窓口の方がいいと思う。QRコードでの募集の案内も必要だと思うので考えてほしい課題である。環境経済部農政課の細村さんどうですか。今までの意見に対して。
細村委員	・これまで皆さんの意見を聞かせて、自分だと気づかないところを指摘されていて、女性の視点が違うというのを感じている。先ほど、黒澤さんが言っていた参加の申込み方法は、QRコードを使用する時は、募集人数等よって、すみ分けでうまく活用していけばいいと思う。
議長	・環境経済部商工観光課の新井さんどうですか。
新井委員	・まず、女性活躍とはなんぞやと思うのですが、講座やいろいろなものに申し込む方は、既に活躍されている方、あるいはこれから活躍しようとする方で、頑張っている人だと思う。私はチラシをみてハードルが高いと思ってしまう方だ。そこで、人を集めるのではなく、集まるところに出向き、5分くらいでSDGsの話をしたり、女性が働きやすいようないろいろな紹介をしていただきたい。昨年も話したが、例えば進修館高校やあとはいろいろな集まりに出向いて行って話をしてみてもと思う。
議長	・チラシの力は見た人にしか伝わらないので、多くの人に知ってもらい、興味を持ってもらうのがいかに難しいか。最近はWEBもあるので、そういうのも活用していただき、事務局もハードルがどんどん高くなって申し訳ないが、お願いできればと思う。総務部人事課の川鍋さん、男性の立場から先ほど細村さんが言ったように、女性の視点は違うというのがありましたがいかがか。
川鍋委員	・それぞれ皆さんの置かれている環境が違うので、環境の違いの中でどういう選択肢をとれば、参加しやすくなるのかを考えていく必要があると思われる。申込み手段を出向くこと以外に作ること

	によって、今まで参加したかったができなかったが、できるようになる訳なので、まずは参加しやすいものを作るということ。また、みなさん毎年新しい情報や興味が変わってくると思う。女性の方は今年はこれに興味があるけど、来年は違うことに興味を持っている可能性もあるので、そういう女性の方たちが何に関心を持っているのかを知った上で、講座の内容をよりよくしていく視点も必要ではないかと思う。
議長	・ 講座はたくさんできるわけではないので、その中で凝縮したものを毎年計画を立てているわけですが、去年は誤嚥性肺炎、今年はピラティスですが、体の内面をとということできいろいろ考えて事務局では計画を立てているとは思いますが、茂木さん今年の計画案の内容はどうか。
茂木委員	・ 毎年日だまりサロンの代表が変わるので、前回参加したのは3年前だと思うが、最初の頃はなかなかそこまでいかなかったもので、今回非常に活発な意見がでていてよかった。日だまりサロンでは家庭の中のお母さんが、いかに元気になるか、元気にさせるためにいろいろ計画していきたいと思っている。話はずれるが、先日、行田市下水道審議会に出たが、そのなかでの話で感じたことを通じて、VIVA ぎょうだで男女共同参画の推進を進めていくために、何をやっていくのかというのを、事務局だけで考えるのではなく、もっとこういう場で女性の意見を取り入れてやっていけるといいかなと思う。
議長	・ 持田委員どうか。
持田委員	・ 食改の代表できているのですが、田んぼアートのボランティアの時に、コロナ前は豚汁やオニオンスープ、今回はクッキーを作って提供した。会場には、若い男性や女性がたくさん楽しそうに集まっていた。ここの男性料理講座も和気あいあいとやる機会にな

	るといいと思う。以前、そば打ちをやっていたかと思うが、そば打ちだとどうしても年配の男の人のイメージが高いような気がしたので、私も意見を言ったが家族や男女でやる料理教室ができないかと感じた。
議長	・男性料理講座は昨年度3名ということで、やはり10名くらいは来てほしい。松原さんどうですか。
松原委員	・これまでもそれに関しては様々な意見があったとは思いますが、ただ様々な講座がある中で、パパさんが子育て中のママさんの少し手助けになるように、あとは家庭に持ち帰って家でも料理できるようにという事を目的に、男性とあえてつけてやっていると思うので、その講座に関しては1つはあってもいいのではないのかと思う。8月29日のセミナーの件ですが、弊社のファイブイズホームも企業として参加するのでよろしくお願いします。こちらに関しては、採用担当の者が出席させていただくことになると思う。昨年の会議の中で、面接の時点での印象について話をさせてもらったが、しばらく仕事から離れて久しぶりに再就職しますという方を面接している採用担当者からの話だが、面接の段階でたくさん話してしまったり、服装も企業に面接に行くときはスーツやスーツではなくてもさっぱりとした印象の服装で来られるというイメージが企業側にはあるが、普段着のような服装だったり、面接に慣れていない方も多くいるようなので、元々のスキルを持っている方でも、第一印象は大事になってくると思うので、このようなセミナーをやってもらえるとありがたいと思う。前半部分だけでも、WEBでアップできたり、後で閲覧できるような形で動画を撮って、最初の一時間だけでもアップできるといいのではないかと思います。
議長	・面接での印象力アップの秘訣は、これから就職しようと思っている方にはあとで動画でみられるといいと思う。

黒澤委員	・先ほど持田委員から、男性料理教室の話題でそば打ちだと年齢層が高い方が多いという話の中で、例えばアウトドアクッキングはどうか。キャンプ場に行くと男性が中心に料理をしているのを見かける。60代の男性たちがソロキャンパーで男性が集まっていたり、若い男女がキャンプやっている時も男性が中心でやっていたりするので、そば打ちが続いていたのでアイデアの一つとして提案したいと思う。
議長	・コロナでアウトドアが人気があるので、男性料理講座の内容を考えていただくと参加者が増えるかなと思う。まだ、中身は決定していないのか。
事務局	・男性料理教室だが、そば打ちは行いたいと思っているので、プラスアルファでやりたいと思う。そば打ちに関しては色々な意見があると思うが、こちらの考えとしては、そば打ちは男性が集まりやすいという認識を持っている。調理室があるので男性の方のそば打ちの団体ができて、男性が毎週または月1回でも集まるようになればと思っている。今回、料理も違うものをやらせてもらえればと考えている。公民館にも聞いて参考にさせてもらって、男性が集まりやすい料理を追加で考えたい。8月29日の就職支援セミナーだが、知り合いの方で参加したいという方がいれば、PRしていただきたい。ファイブイズホームさん、十万石さん、森乳業さんが合同企業説明会・相談会で参加していただく。ヤオコーさんやベルクさんなどにポスターを貼らせてもらい、十万石さんにもお願いして事務局としてもPRをしているのでよろしくお願いする。
議長	・定員が30名だと、就職を希望しなくても来てみたいとか、そういう人もいると思うがどうか。
宮崎委員	・特に、今すぐ就職するという方だけではなく、企業さんが今どん

	な人材を求めているか、情報収集の場に使ってもらいたい。
議長	・予約制で定員になり次第締め切りになっているのでどうかなと思った。
宮崎委員	・確か、今10名弱くらいの申し込みなので、まだ大丈夫である。
議長	・女性活躍推進事業パソコン講座の受講後の調査で回答をもらった、A4のプリントがあるが事務局から説明をいただきたい。
事務局	・パソコン講座について受講後の調査を行った。受講した6名に手紙を送付した。3名から回答があり、内容は厳しい回答で、実際にこの講座を受講して就職に繋がった、とても役に立ったという人はいなかったのが現実である。パソコン講座を行ったからすぐに就職につながるものではないということは実感している。
議長	・ハローワークはどうですか。就職希望での相談はたくさんあります。
高橋委員	・パソコン講座は4回ですが、本格的に身につけたい方は、職業訓練がある。このパソコン講座はリンク学院がされているようだが、職業訓練3か月コース、平日9時から5時までや、週5で行くリンク学院の委託訓練が3か月があるが、こちらは基礎講座と応用講座があるので、直結してくると思う。
議長	・費用はかかるのか。
高橋委員	・無料だが、教材費は自費である。
議長	・修了証はもらえるのか。

高橋委員	・ 3 か月毎日行くので、例えば条件に該当する方は、失業保険をもらっている人はその間ももらえとか延長してもらえ。失業保険をもらっていない人は、資産や通帳をみせてもらい、その範囲内であれば毎月いくら支給する制度や色々失業中の方の制度がある。
議長	・ いいシステムである。活用しないのはもったいない。どんどんPRして、失業してる方にキャリアアップしてもらい再就職に繋がていけたらと思う。根岸さんどうですか。
根岸委員	・ パソコン講座に関して、今年も4回するということだが、企業側としては4回のパソコン研修はあまり意味がない。これをやるのであれば、ハローワークの方に誘導して、その費用や時間を他の調理教室であったり、研修をしてもらいたい。男性料理講座ですが、チラシを配布する先が、例えば公民館であればやはり年配の方が集まる印象がある。女性が来そうなところへチラシの配布はできていると思うが、もし男性若年層も参加してもらいたい場合は、せっかく企業側も参加してますので、こちらでまきば園の方にチラシを置いて参加者を募るということもできる。あと、ファイブイズホームさんもしそうなったら、ぜひ企業に置くということを活用していただきたいと思う。 あと、今女性が興味があるものは何だろうというのがあり、自分が何に興味があるかなと思ったら、ごみ捨ての方法が今興味がある。例えば、核家族化が進んでいて、代々ごみの捨て方を教わってきたのであればいいが、若くして家を出て自己流で家事をやってきた層が、行田に来て、行田のごみの仕組みもわからずに生ごみの処理方法もわからずにやっていると、自分がやっていることが環境にいいのかわからない。生ごみの捨て方を検索しても、色々な方法がでてくるので、市としてどういう方法だといいとかその正解を知りたい。あと、コンポストを使ってみたいが何を買っていいかわからない。ごみを減らす方法は、個人的にはとても

	興味がある。
議長	・何でもごみとしないで、有効活用したいと思う。その他ありますか。それでは、（３）その他は何かありますか。
事務局	・今日配布した資料で、VIVA ぎょうだで行った男女共同参画週間の取組みの説明になる。資料「多様な性、知っていますか」は、県の人権・男女共同参画課より貸出用の「多様な性、知っていますか」についてのパネル展示を男女共同参画関連図書と DVD の展示を行ったのがこの資料である。もう１点は、先ほど座長の山崎さんより話があった、パソコン講座の受講後の状況調査の集計になるので、細かいところは目を通していただきたい。
議長	・男女共同参画週間の展示の様子で、写真を見るとたくさんの人が来場したようにみえるが、人数は把握してたのか。
事務局	・この写真は、ここを利用する団体に、声をかけみてもらったところを写真に撮ったものだ。そのほか、２階を利用している方はみているが、集計は取っていない。
議長	・皆様から貴重な意見をいただき、長時間にわたりありがとうございました。これをもって議長の職を解かせていただく
事務局	・本日はありがとうございました。今日、伺ったことを参考にさせていただきたいと思う。前年度の事業報告についてですが、昨年度第２回目でしているため、資料として用意しなかったが、今年度初めて委員になってこられた方もいるので、来年度については、用意をしたいと思う。本日は長時間にわたりありがとうございました。次回のネットワーク会議については、調整後、詳細が決定次第追って開催通知および会議資料を郵送する。以上を持って第１回女性活躍推進ネットワーク会議を閉会する。

● 閉会